1919年に柱上変圧器の生産を開始して以来、ダイヘンには約1世紀にわたる電力機器事業の経験とノウハウが蓄積されています。工場、ビル、商業施設などの単体設備からスマートグリッドやインフラといった大規模システムまでの納入事例があり、電力設備に関するあらゆるソリューションをご用意しています。カスタマーの課題を的確に把握し、コストとエコロジーの両面から、高い効果を生むプランのご提案を目指しています。また、プラン立案後は設計、製造、設置からアフターサービスまで、すべてのプロセスにおいて自社一貫体制でお応えできることもダイヘンの強みです。電力設備に求められるすべてのご要望に、プロフェッショナルな技術と対応ですばやくお応えする――それがDAIHEN Total Serviceです。

保全計画のご提案

電力設備の重要性がますます高まるにつれて、保全（保守）の方法も壊れてから直す事後保全ではなく、計画的に設備診断を実施していく予防保全へと変化してきています。導入後一定期間を経た電力設備は、安全のための診断を行い、老朽化に伴う故障の予防保全をおすすめしています。以下に機器の老朽化に伴い起こりえる故障例を記させていただきます。

老朽化による故障例

- 開閉器類は投入・引外しの動作に支障をきたし、絶縁劣化により短絡事故に至る可能性があります。
- 保護リレーでは、動作時間が長くなり上位との協調がとれなくなります。
- 電力ヒューズでは、通電電流で誤溶断し、遮断できずに破裂することがあります。

このようなことから特に重要である機器についての診断実施推奨時期および更新推奨時期を以下の表にまとめましたのでぜひご検討ください。

部品名称	診断実施推奨時期	更新推奨時期
断路器	15年	20年
真空遮断器	15年	20年
真空電磁接触器	12年	15年
負荷開閉器	15年	20年
電力ヒューズ	—	屋内15年/屋外10年
変圧器	15年	20年
電力用コンデンサ	15年	20年
保護継電器	12年	15年
コンデンサ引外し装置	—	6年*1

上表はこれまでに一般的に公表された各種の報告書をもとにしてまとめたものです。また、この更新推奨時期は機能や性能に対するメーカーの保障値ではなく、通常の環境下のもとで通常の保守点検を行いながら使用した場合に機器構成材の老朽化などにより新品と交換した方が経済性を含めて有利と考えられる時期を示しています。

*1:メーカーの更新推奨時期です。

関連製品のご案内

トップランナー2014対応製品

- さらなる省エネルギー性能向上
- 耐震性能の強化
- コンパクト設計
- 低騒音

● トップランナー油入変圧器

確かなエネルギーコントロール技術により創造性に富んだ次世代のエネルギー社会を構築します

● トップランナーモールド変圧器

難燃性で防災性に優れ、公共施設、高層ビル、病院などに最適
コンパクト設計でシンプルかつすっきりとしたデザイン